

平成25年度

稲敷市水道事業会計決算の概要



水 道 事 業 会 計

工 業 用 水 道 事 業 会 計

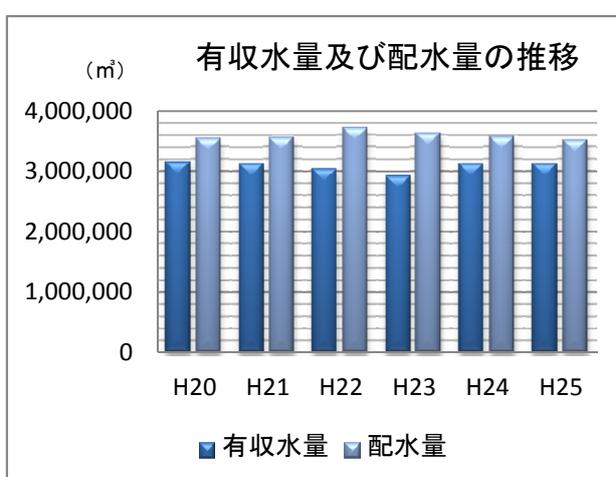
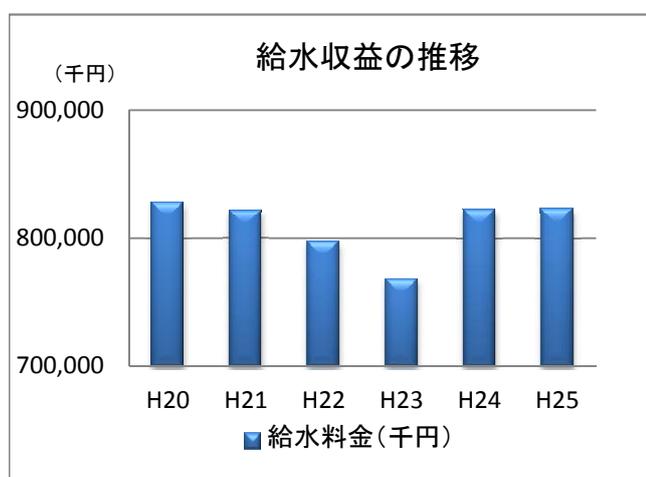
平成25年度 水道事業会計決算の概要

◎ 総括事項

平成25年度水道事業会計決算において、営業収益の大半を占める料金収入は822,916千円で、前年度にくらべ0.1%の微増になる一方、営業費用は、825,598千円で1.87%の減少となりました。また総収益において一般会計からの繰入金が増加したことにより2,888千円増収となりますが、総費用も19,412千円減少したことにより純利益55,160千円となりました。

建設改良事業では、前年度より繰越となった地区要望の配水管新設工事、平成25年度の県道改良に伴う配水管布設替工事、圏央道に伴う配水管布設替工事及び地区要望の配水管新設工事、配水管布設替工事を実施しました。

給水件数は10,596件で、前年度に比べ118件1.13%増加したものの、普及率は、給水区域内人口及び給水人口の減少から前年度より0.8%増の67.8%となります。



◎ 業務の実績

項目	単位	平成25年度	平成24年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	44,567	45,434	△ 867	△ 1.91
給水人口	人	30,217	30,451	△ 234	△ 0.77
普及率	%	67.8	67.0	0.8	1.19
計画給水人口	人	43,050	43,050	0	0.00
計画給水人口に対する普及率	%	70.2	70.7	△ 0.5	△ 0.71
給水件数	件	10,596	10,478	118	1.13
給水件数(一般家庭用)	件	9,871	9,753	118	1.21
水道新規加入件数	件	129	125	4	3.20
導・送・配水管延長	m	509,369	503,783	5,586	1.11
配水能力	日/m³	14,228	14,228	0	0.00
年間配水量	m³	3,506,924	3,562,319	△ 55,395	△ 1.56
県水受水量	m³	3,135,056	3,086,540	48,516	1.57
自己水源	m³	505,801	591,491	△ 85,690	△ 14.49
年間有収水量	m³	3,107,399	3,108,121	△ 722	△ 0.02
有収率	%	88.6	87.2	1.4	1.61
一日平均配水量	m³	9,608	9,760	△ 152	△ 1.56
一日最大配水量	m³	11,069	10,927	142	1.30

◎ 比較損益計算書

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増減	増減率(%)
事業収益	903,882,116	906,769,772	△ 2,887,656	△ 0.32
営業収益	847,451,325	846,012,007	1,439,318	0.17
営業外収益	56,430,791	60,757,765	△ 4,326,974	△ 7.12
特別利益	0	0	0	0.00
事業費用	848,722,011	868,133,943	△ 19,411,932	△ 2.24
営業費用	825,597,998	841,333,392	△ 15,735,394	△ 1.87
営業外費用	16,744,084	20,513,549	△ 3,769,465	△ 18.38
特別損失	6,379,929	6,287,002	92,927	1.48
営業利益	21,853,327	4,678,615	17,174,712	367.09
経常利益	61,540,034	44,922,831	16,617,203	36.99
当年度純利益	55,160,105	38,635,829	16,524,276	42.77
当年度末処分利益剰余金	498,305,753	478,145,648	20,160,105	4.22

◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増減	増減率(%)
固定資産	8,619,204,973	8,698,655,415	△ 79,450,442	△ 0.91
流動資産	897,685,161	920,921,500	△ 23,236,339	△ 2.52
資産合計	9,516,890,134	9,619,576,915	△ 102,686,781	△ 1.07
固定負債	47,841,628	43,638,207	4,203,421	9.63
流動負債	109,068,187	112,860,648	△ 3,792,461	△ 3.36
資本金	4,022,571,766	4,170,454,112	△ 147,882,346	△ 3.55
剰余金	5,337,408,553	5,292,623,948	44,784,605	0.85
負債・資本合計	9,516,890,134	9,619,576,915	△ 102,686,781	△ 1.07

◎ 企業債

平成25年度企業債償還額は174,889,846円で、年度末未償還残高は777,186,890円となります。

未償還残高は、これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し、平成24年度末償還残高と比較しますと18.4%の減となります。

企業債増減額

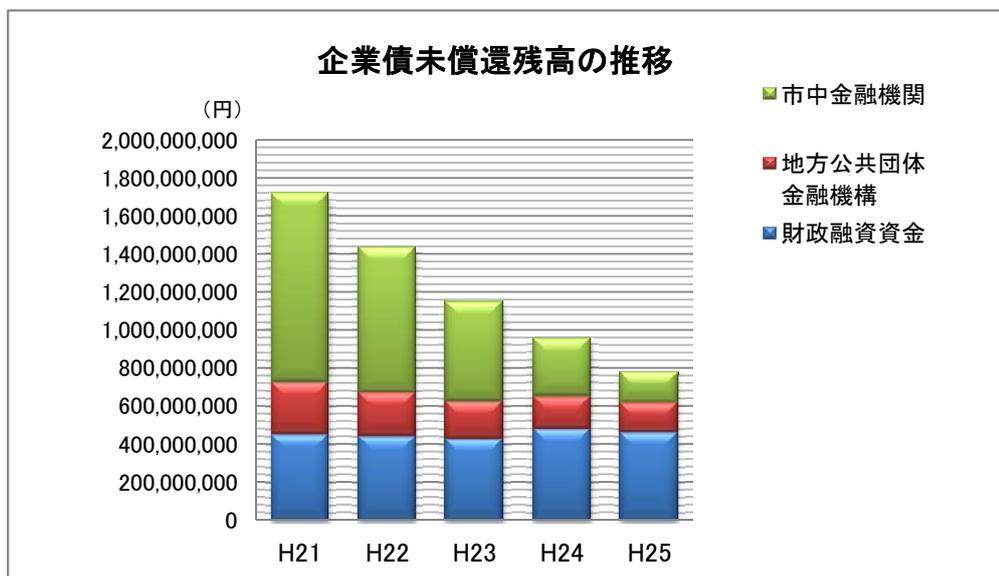
(単位:円)

項 目	発行総額	24年度末残高	25年度		償還高累計額	25年度末未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	585,600,000	478,850,805	0	19,251,265	126,000,460	459,599,540
地方公共団体 金融機構	248,400,000	170,168,306	0	12,584,616	90,816,310	157,583,690
市中金融機関	848,600,000	303,057,625	0	143,053,965	688,596,340	160,003,660
合 計	1,682,600,000	952,076,736	0	174,889,846	905,413,110	777,186,890

未償還残高の推移

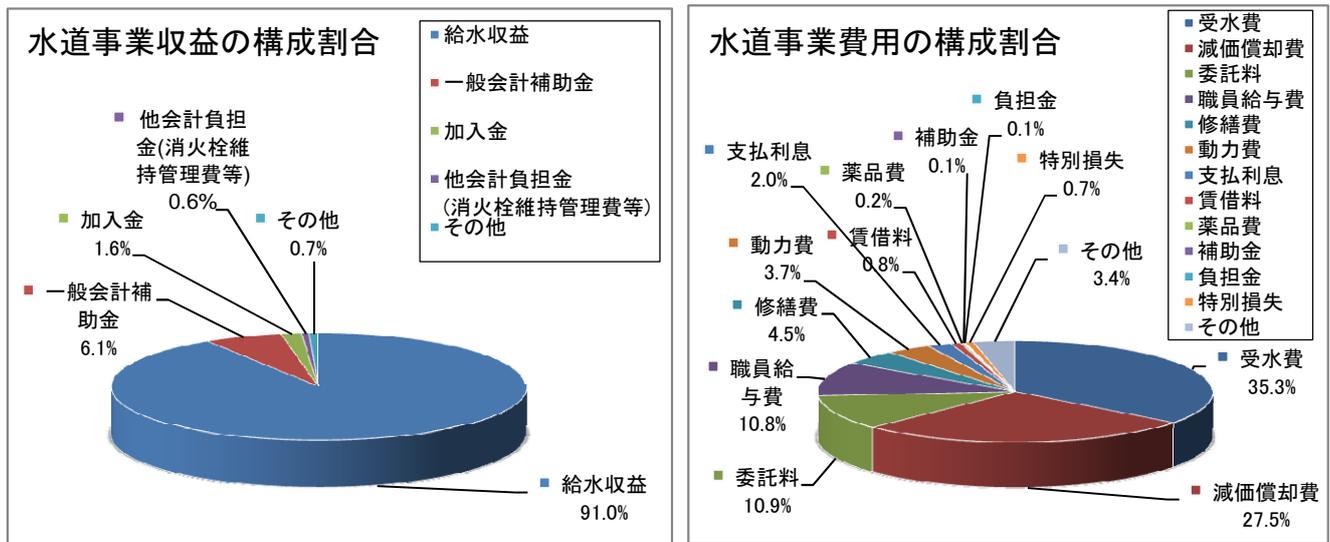
(単位:円,%)

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (A)	平成25年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	453,943,768	442,982,512	428,358,306	478,850,805	459,599,540	△ 19,251,265	△ 4.0
地方公共団体 金融機構	271,615,100	230,592,616	195,678,172	170,168,306	157,583,690	△ 12,584,616	△ 7.4
市中金融機関	992,359,559	759,877,995	525,266,016	303,057,625	160,003,660	△ 143,053,965	△ 47.2
合 計	1,717,918,427	1,433,453,123	1,149,302,494	952,076,736	777,186,890	△ 174,889,846	△ 18.4



【平成25年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	25年度(A)		24年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	822,916,212	91.0	822,058,255	90.6	857,957	0.1
一 般 会 計 補 助 金	54,781,000	6.1	58,663,000	6.5	△ 3,882,000	△ 6.6
加 入 金	14,125,000	1.6	14,555,000	1.6	△ 430,000	△ 3.0
他 会 計 負 担 金 (消火栓維持管理費等)	5,251,000	0.6	4,909,050	0.6	341,950	7.0
そ の 他	6,808,904	0.7	6,584,467	0.7	224,437	3.4
収 益 合 計	903,882,116	100.0	906,769,772	100.0	△ 2,887,656	△ 0.3

◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	25年度(A)		24年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	299,699,276	35.3	298,197,683	34.3	1,501,593	0.5
減 価 償 却 費	233,781,697	27.5	233,971,653	27.0	△ 189,956	△ 0.1
委 託 料	92,128,019	10.9	102,341,792	11.8	△ 10,213,773	△ 10.0
職 員 給 与 費	91,957,296	10.8	102,586,916	11.8	△ 10,629,620	△ 10.4
修 繕 費	37,773,236	4.5	33,016,290	3.8	4,756,946	14.4
動 力 費	31,243,609	3.7	28,491,770	3.3	2,751,839	9.7
支 払 利 息	16,635,014	2.0	19,305,971	2.2	△ 2,670,957	△ 13.8
賃 借 料	6,752,760	0.8	7,494,000	0.9	△ 741,240	△ 9.9
薬 品 費	1,422,670	0.2	1,401,950	0.2	20,720	1.5
補 助 金	971,430	0.1	142,858	0.0	828,572	580.0
負 担 金	749,642	0.1	725,359	0.1	24,283	3.3
特 別 損 失	6,379,929	0.7	6,287,002	0.7	92,927	1.5
そ の 他	29,227,433	3.4	34,170,699	3.9	△ 4,943,266	△ 14.5
費 用 合 計	848,722,011	100.0	868,133,943	100.0	△ 19,411,932	△ 2.2

※25年度特別損失:不納欠損処分6,130,226円

※24年度特別損失:不納欠損処分6,287,002円

【給水原価と供給単価】

◎ 給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費))÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

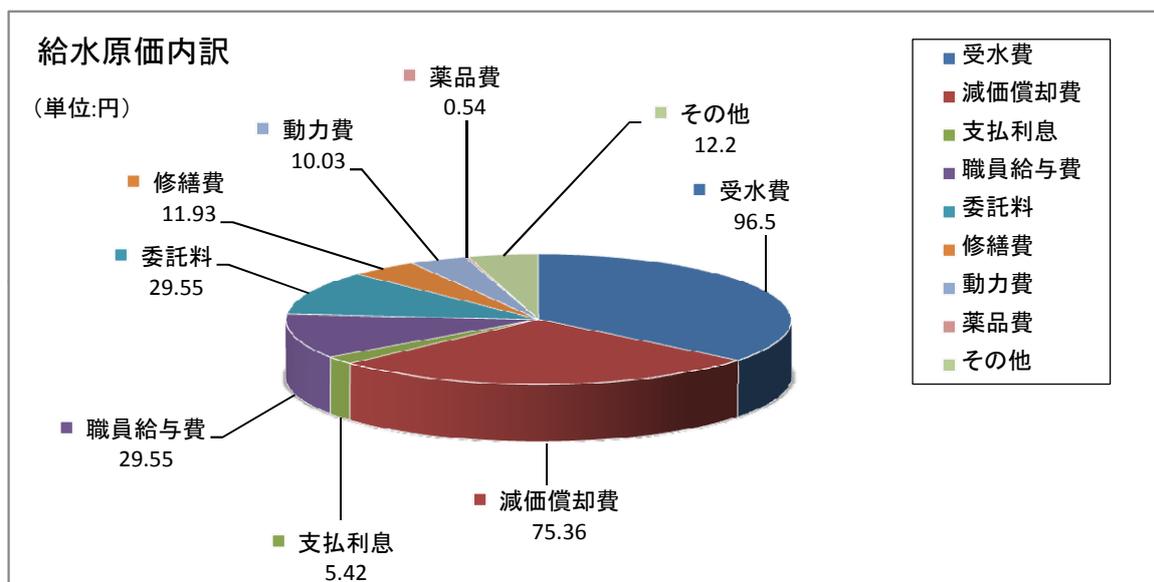
収益につながる水量 1m^3 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、 1m^3 の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

・給水原価とその内訳

給水原価の用途はグラフのとおりです。給水原価271.08円のうち受水費と減価償却費が63.4% (171.86円)を占めています。

(単位:円/ m^3)

区 分	25年度	24年度	23年度	22年度
給水原価(A)	271.08	277.29	296.74	289.69



◎ 供給単価

給水収益÷年間総有収水量

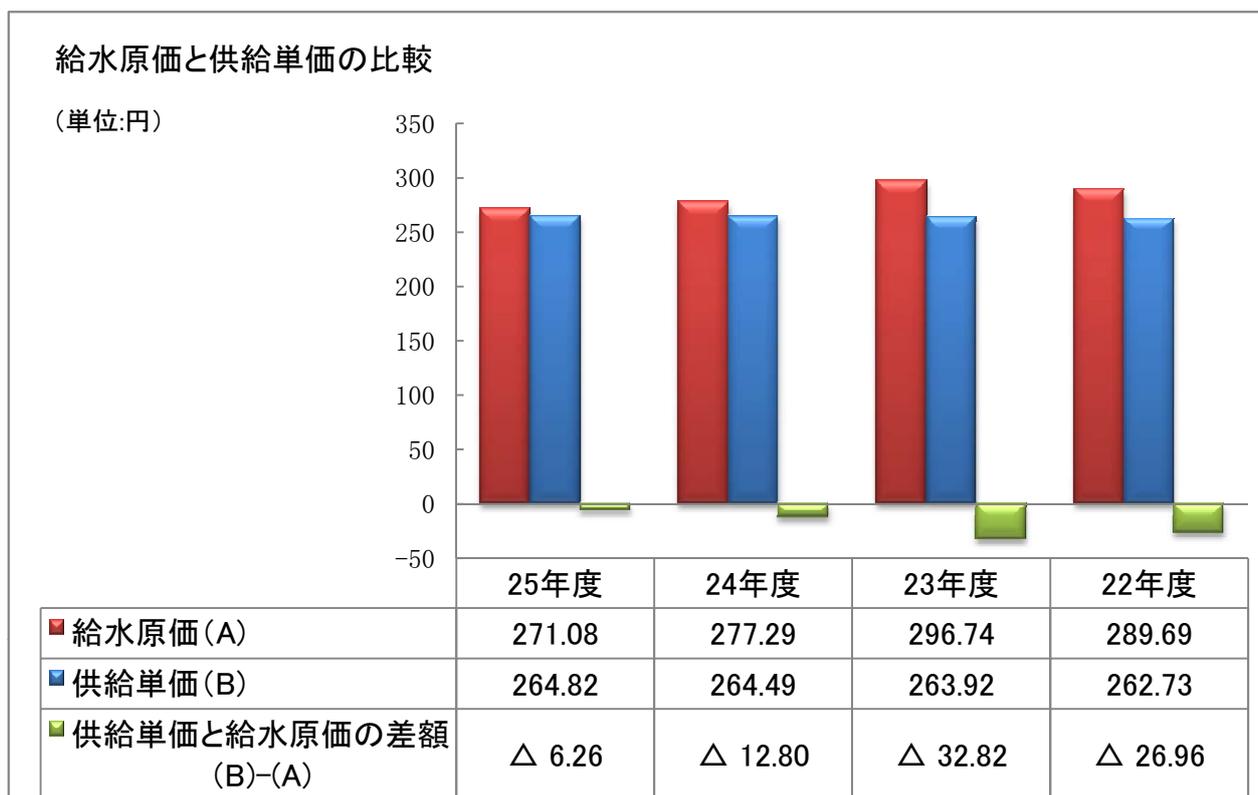
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量 1m^3 当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、 1m^3 の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区 分	25年度	24年度	23年度	22年度
供給単価(B)	264.82	264.49	263.92	262.73

◎ 給水原価と供給単価の比較

「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに、水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。1m³の水を供給するのにかかる費用と1m³あたりの水道料金の単価を比較することにより、原価回収ができていないかを把握できます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることとなりますが、稲敷市の場合、今だ給水原価が供給単価を上回っている状況にあります。



【経営分析】

◎ 財務分析表

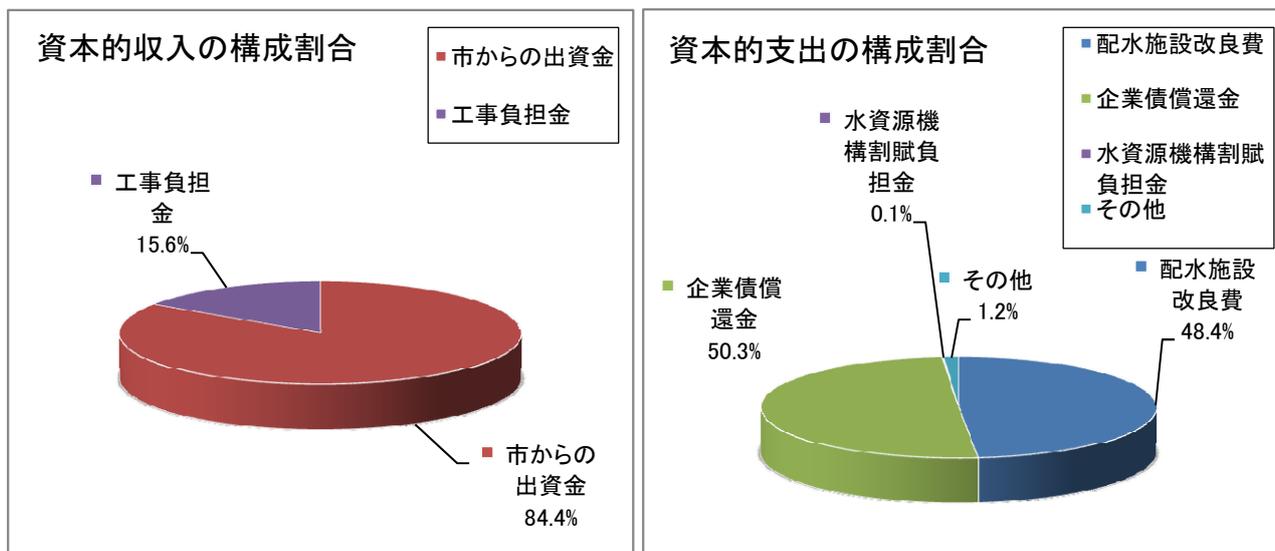
分析項目	平成25年度	平成24年度	県平均 (24年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	90.2	88.5	64.8	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	91.6	91.5	91.1	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	823.0	816.0	641.9	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	106.5	104.5	104.8	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	107.3	105.2	105.3	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)	102.6	100.6	108.9	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	74.9	113.4	81.7	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	21.3	32.3	31.3	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	2.0	2.2	8.7	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	28.4	28.5	30.9	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	9.8	10.9	9.7	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

◎ 経営分析表

分析項目	平成25年度	平成24年度	県平均 (24年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	67.5	68.4	63.2	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	86.8	89.1	87.1	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	77.8	76.8	72.6	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m ³ /m)	6.9	7.1	13.6	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m ³ /万円)	4.1	4.1	6.2	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円/m ³)	264.8	264.5	190.9	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円/m ³)	271.1	277.3	201.7	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,518	2,538	3,988	
9. 職員1人当の有収水量(千m ³ /人)	259	259	409	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	70,621	70,501	82,727	

【平成25年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	25年度(A)		24年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
借入金(企業債)	0	0.0	68,200,000	17.5	△ 68,200,000	△ 100.0
市からの出資金	14,145,000	84.4	120,126,000	30.7	△ 105,981,000	△ 88.2
国庫補助金	0	0.0	153,822,000	39.3	△ 153,822,000	△ 100.0
工事負担金	2,611,350	15.6	48,855,000	12.5	△ 46,243,650	△ 94.7
資本的収入合計	16,756,350	100.0	391,003,000	100.0	△ 374,246,650	△ 95.7

◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	25年度(A)		24年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
配水施設改良費	168,514,500	48.4	126,225,750	16.6	42,288,750	33.5
水道施設災害復旧費	0	0.0	344,265,702	45.3	△ 344,265,702	△ 100.0
企業債償還金	174,889,846	50.3	265,425,758	34.9	△ 90,535,912	△ 34.1
水資源機構割賦負担金	305,474	0.1	13,690,887	1.8	△ 13,385,413	△ 97.8
その他	4,059,585	1.2	10,347,068	1.4	△ 6,287,483	△ 60.8
資本的支出合計	347,769,405	100.0	759,955,165	100.0	△ 412,185,760	△ 54.2

◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		25年度(A)	24年度(B)	増減(A)-(B)
資本的収支不足額		331,013,055	368,952,165	△ 37,939,110
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	156,517,768	236,836,484	△ 80,318,716
	当年度分損益勘定留保資金	153,551,275	87,817,184	65,734,091
	減債積立金	0	0	0
	建設改良積立金	12,862,500	30,660,000	△ 17,797,500
	その他の(当年度消費税資本的収支調整額)	8,081,512	13,638,497	△ 5,556,985

◎ 工事概況

(1) 建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容		契約金額(税込)
24 年度 繰越 建設 改良 工事	H24稲水 沼田・時崎地区配水管布設工事(その1)	配水管布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=463.3m 6件 1基	14,931,000
	H24稲水 沼田・時崎地区配水管布設工事(その2)	配水管布設工事	L=704.4m	18,154,500
	H24稲水 柴崎(寄居)地区配水管布設工事	配水管布設工事 消火栓設置工事	L=451.9m 1基	19,803,000
	H24稲水 西代地区配水管布設工事	配水管布設工事	L=125.3m	10,038,000
25 年度 建設 改良 工事	H25稲水 月出里地区配水管布設工事	配水管布設工事 消火栓設置工事	L=703.3m 1基	16,338,000
	H25稲水 柴崎(寄居)地区配水管布設工事(その1)	配水管布設工事 消火栓設置工事	L=293.5m 1基	18,259,500
	H25稲水 柴崎(寄居)地区配水管布設工事(その2)	配水管布設工事 給水管切替工事	L=326.9m 2件	21,966,000
	H25稲水 県道改良に伴う時崎地区配水管布設替工事	配水管布設替工事 給水管切替工事	L=175.8m 2件	11,917,500
	H25稲水 南太田地区配水管布設替工事	配水管布設替工事 給水管切替工事	L=357.0m 2件	6,919,500
	H25稲水 圏央道に伴う配水管布設替工事	配水管布設替工事	L=123.1m	7,014,000

平成25年度 工業用水道事業会計決算概要

◎ 総括事項

平成25年度工業用水道事業会計決算は、総収益8,241千円で、前年度に比べ723千円、8.1%の減少であり、総費用においては、7,409千円で、前年度と比べ971千円、11.6%の減少となりました。総収支で831千円の純利益となり、前年度の純利益583千円に対し42.5%の増益となります。

◎ 業務の実績

業務活動の結果業務量は、次のとおりとなりました。

項 目	単位	平成25年度	平成24年度	増減	増減率(%)
給 水 事 業 所 数	件	7	7	0	0.0
配 水 能 力	日/m ³	870	870	0	0.0
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	0	0.0
年 間 配 水 量	m ³	27,403	35,814	△ 8,411	△ 23.5
年 間 有 収 水 量	m ³	27,185	33,737	△ 6,552	△ 19.4
有 収 率	%	99.2	94.2	5	5.3
年 間 契 約 水 量	m ³	120,800	131,400	△ 10,600	△ 8.1
一 日 平 均 契 約 水 量	m ³	331	360	△ 29	△ 8.1
一 日 平 均 配 水 量	m ³	75	98	△ 23	△ 23.5
一 日 最 大 配 水 量	m ³	190	192	△ 2	△ 1.0

◎ 比較損益計算書(税込)

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増減	増減率(%)
事 業 収 益	8,240,910	8,964,087	△ 723,177	△ 8.1
営業収益	8,214,400	8,935,200	△ 720,800	△ 8.1
営業外収益	26,510	28,887	△ 2,377	△ 8.2
事 業 費 用	7,409,468	8,380,685	△ 971,217	△ 11.6
営業費用	7,409,468	8,380,685	△ 971,217	△ 11.6
営業外費用	0	0	0	0.0
営 業 利 益	804,932	554,515	250,417	45.2
経 常 利 益	831,442	583,402	248,040	42.5
当 年 度 純 利 益	831,442	583,402	248,040	42.5
当年度未処分利益剰余金	16,338,273	15,506,831	831,442	5.4

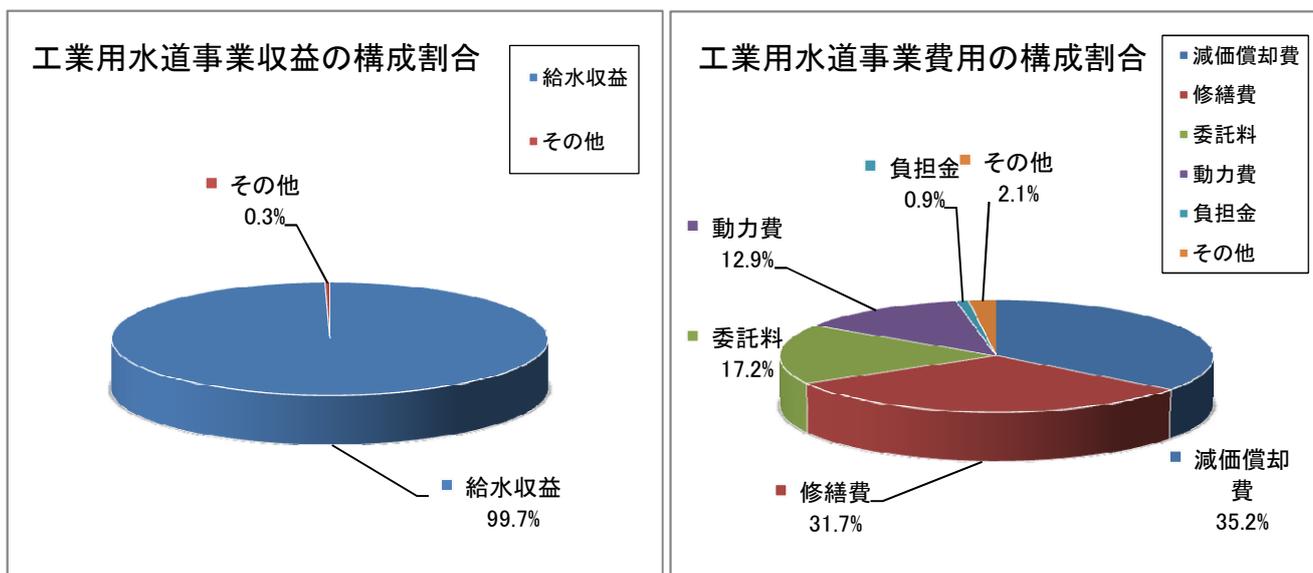
◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増減	増減率(%)
固 定 資 産	44,765,326	47,375,874	△ 2,610,548	△ 5.5
流 動 資 産	114,376,632	113,235,833	1,140,799	1.0
資 産 合 計	159,141,958	160,611,707	△ 1,469,749	△ 0.9
固 定 負 債	6,200,000	4,200,000	2,000,000	47.6
流 動 負 債	103,685	4,404,876	△ 4,301,191	△ 97.6
資 本 金	0	0	0	0.0
剰 余 金	152,838,273	152,006,831	831,442	0.5
負 債 ・ 資 本 合 計	159,141,958	160,611,707	△ 1,469,749	△ 0.9

【平成25年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 工業用水道事業収益の構成（税込）

（単位：円）

科 目	25年度(A)		24年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	8,214,400	99.7	8,935,200	99.7	△ 720,800	△ 8.1
そ の 他	26,510	0.3	28,887	0.3	△ 2,377	△ 8.2
収 益 合 計	8,240,910	100.0	8,964,087	100.0	△ 723,177	△ 8.1

◎ 工業用水道事業費用の構成（税込）

（単位：円）

科 目	25年度(A)		24年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減 価 償 却 費	2,610,548	35.2	2,630,992	31.4	△ 20,444	△ 0.8
修 繕 費	2,346,500	31.7	3,385,250	40.4	△ 1,038,750	△ 30.7
委 託 料	1,277,220	17.2	1,289,820	15.4	△ 12,600	△ 1.0
動 力 費	954,803	12.9	846,494	10.1	108,309	12.8
負 担 金	68,000	0.9	70,600	0.8	△ 2,600	△ 3.7
そ の 他	152,397	2.1	157,529	1.9	△ 5,132	△ 3.3
費 用 合 計	7,409,468	100.0	8,380,685	100.0	△ 971,217	△ 11.6